

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 27 年 5 月 15 日

計画の名称	川越市公共下水道																
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)					交付対象	川越市										
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																
計画の成果目標（定量的指標）																	
①下水道による都市浸水対策達成率を37.32%（H22）から37.38%（H26）に増加させる。																	
②合流式下水道改善率を7%（H22）から100%（H25）に増加させる。																	
③下水道処理人口普及率を84.4%（H22）から84.7%（H26）に増加させる。																	
④管渠更生整備実施率を9.6%（H22）から23.8%（H26）に増加させる。																	
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値			備考				
										当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)					
① 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積(ha)／浸水対策を実施すべき面積(ha) : 4,837ha										37.32%	37.34%	37.40%					
② 合流式下水道改善率 合流式下水道改善済み面積(ha)／合流区域面積(ha) : 827ha										7.0%	19.0%	(H25末) 100%					
③ 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)／総人口(人)										84.4%	84.5%	84.7%					
④ 長寿命化計画における管渠更生実施率 管渠のうち管渠更生整備が実施された延長(km)／合流式管渠の総延長(km) : 147.5km										9.6%	18.1%	23.8%					
全体事業費	合計 (A+B+C)		1,263百万円	A	1,211百万円	B	0百万円	C	53百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)		4.2%					
事後評価（中間評価）																	
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																	
事後評価（中間評価）の実施体制								事後評価（中間評価）の実施時期									
								平成27年5月									
川越市公共下水道事後評価実施要綱に基づき、川越市公共下水道評価委員会を実施。								公表の方法									
								市ホームページ掲載									
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
荒川右岸処理区																	
A-1-1	下水道	一般	川越市	直接	川越市	汚水	新設	新河岸第3処理分区分管渠整備	整備面積 3.58ha	川越市						27.63	
A-1-2	下水道	一般	川越市	直接	川越市	汚水	新設	新河岸第5処理分区分管渠整備	整備面積 11.11ha	川越市						53.58	
A-2-3	下水道	一般	川越市	直接	川越市	汚水	新設	新河岸第8－1処理分区分管渠整備	整備面積 10.81ha	川越市						137.18	
A-2-4	下水道	一般	川越市	直接	川越市	汚水	新設	新河岸第9処理分区分管渠整備	整備面積 0ha	川越市						0.00	
A-2-5	下水道	一般	川越市	直接	川越市	汚水	新設	新河岸第10処理分区分管渠整備	整備面積 1.35ha	川越市						56.05	
A-3-6	下水道	一般	川越市	直接	川越市	汚水	新設	新河岸北第6処理分区分管渠整備	整備面積 1.31ha	川越市						33.75	
A-4-7	下水道	一般	川越市	直接	川越市	合流	新設	新河岸第8－2処理分区分貯留事業	貯留施設設置4箇所 貯留管設置4箇所	川越市						1,033.94	合流改善計画
A-5-8	下水道	一般	川越市	直接	川越市	合流	改築	新河岸第8－2処理分区分管渠更生	更生延長0.0km	川越市						0.00	長寿命化計画
江川第1排水区																	
A-6-9	下水道	一般	川越市	直接	川越市	雨水	新設	江川第1排水区管渠整備	整備面積 0.35 ha	川越市						192.57	
新河岸川右岸第2-1排水区																	
A-6-11	下水道	一般	川越市	直接	川越市	雨水	新設	新河岸川右岸第2－1排水区管渠整備	整備面積 1.53 ha	川越市						124.00	
															合計	1,658.70	

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計														0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C 効果促進事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
C-1-2	下水道	一般	川越市	直接	川越市	建設	新河岸第 5 処理分区枝線整備	整備面積 1.39ha	川越市						7.42	
C-2-3	下水道	一般	川越市	直接	川越市	建設	新河岸第 8－1 処理分区枝線整備	整備面積 0.91ha	川越市						10.34	
C-2-4	下水道	一般	川越市	直接	川越市	建設	新河岸第 9 処理分区枝線整備	整備面積 0ha	川越市						0.00	
C-2-5	下水道	一般	川越市	直接	川越市	建設	新河岸第 10 処理分区枝線整備	整備面積 0ha	川越市						0.00	
C-3-6	下水道	一般	川越市	間接	川越市	建設	新河岸北第 6 処理分区枝線整備	整備面積 0ha	川越市						0.00	
C-5-8	下水道	一般	川越市	直接	川越市	改築	新河岸第 8－2 処理分区枝線更生	更生延長 0.0 km	川越市						0.00	
合計														17.76		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C-1-2	基幹事業と接続する枝線を整備することにより普及促進を図る。															
C-2-3	基幹事業と接続する枝線を整備することにより普及促進を図る。															
C-2-4	基幹事業と接続する枝線を整備することにより普及促進を図る。															
C-2-5	基幹事業と接続する枝線を整備することにより普及促進を図る。															
C-3-6	基幹事業と接続する枝線を整備することにより普及促進を図る。															
C-5-8	基幹事業である管渠と接続している枝線更生を一体的に行うことにより、管の破損による道路陥没を防ぎ、都市活動を確保する。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・新河岸川右岸第2-1排水区の管渠整備を進めた結果、整備済面積が1805.00ha (H22) から1810.19ha (H26) に増加し、整備率が0.1%向上した。 ・合流式下水道改善率が100%達成したことにより、放流先水域の管渠改善が図ることができた。 ・污水管渠の整備を進めた結果、整備済面積が3541.5ha (H22) から3689.5ha (H26) に増加し、下水道処理人口普及率が0.8%向上した。 ・新河岸第8-2処理分区の管更生を進めた結果。更生延長が14.1km (H22) から30.2km (H26) に増加し、管渠更生実施率が10.9%向上した。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道による都市浸水対策達成率）	最終目標値	37.40%	目標値と実績値に差が出た要因	新河岸駅周辺整備事業の進捗との整合を図り、面的な整備を進めたため。
		最終実績値	37.42%		
	指標②（合流式下水道改善率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100.0%		
	指標③（下水道処理人口普及率）	最終目標値	84.7%	目標値と実績値に差が出た要因	市単独事業においても、事業の前倒しを実施する等、ほかの整備すべき路線の整備を進めたため。
		最終実績値	85.2%		
	指標④（長寿命化計画における管渠更生実施率）	最終目標値	23.8%	目標値と実績値に差が出た要因	平成24年TVカメラ調査を実施し管の状態を確認したところ、想定より老朽化が進んでおらず、管更生の対象となる路線が減少したため。
		最終実績値	20.5%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					
3. 特記事項（今後の方針等）					
・都市浸水対策等を進めることにより、浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしの実現を目指す。 ・幹線及び関連枝線整備事業（未普及対策）は、生活環境の改善や河川等の水質保全を図るため、引き続き新しい社会資本総合整備計画（H27～H31）において進める。					